



2025年2月17日

各 位

会 社 名 Japan Eyewear Holdings 株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 金子 真也
(コード番号：5889 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役管理本部長兼管理部長 柴 田 俊一
TEL. 03-6411-0919

(開示事項の経過) 株式の売出しの中止及び市場区分の変更申請の取下げに関連した 内部管理体制に関する確認事項のお知らせ

当社は、2025年2月14日付で公表した「株式の売出しの中止及び市場区分の変更申請の取下げに関するお知らせ」に記載のとおり、内部管理体制に関する確認事項が発生したことから、株式の売出しの中止及び市場区分の変更申請の取下げを行いました。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様にご迷惑とご心配をおかけすることになり、心よりお詫び申し上げます。株式の売出しの中止及び市場区分の変更申請の取下げに至った背景につきまして、現時点で確認できている事項、及び対応方針等につきまして改めてご報告いたします。

1. 中止理由

株式の売出しの中止及び市場区分の変更申請の取下げを行った理由は、株式の売出しについて外部公表を行う前に、株式の売出しを知りうる立場にある役員が当社株式を購入しており、インサイダー取引規制違反が疑われる事態（以下、「本事案」という。）が判明したためです。当社が本事案を把握後速やかに主幹事証券会社等の関係者とも協議の上、2025年2月14日に当社取締役会において株式の売出しの中止及び市場区分の変更申請の取下げを決議して公表するに至りました。

2. 今後の対応等

本事案に関して、事実関係の確認や原因分析ほか徹底した調査を速やかに実施したうえで、本事案に関与した役員の処遇、本事案に関する当社役員陣の責任の明確化、並びに今後のガバナンス体制・内部管理体制の強化を含む再発防止策の策定を行ってまいります。また、当社は、関係当局による捜査及び調査に全面的に協力してまいります。なお、今後、開示すべき事項が判明した場合には、速やかに公表いたします。

当社は、経営管理組織の充実と株主重視の観点に立ったコーポレート・ガバナンスの充実を最重要課題と認識し、リスク・コンプライアンス委員会を設置し、平素より内部統制の強化や統制活動の整備推進を行ってまいりました。しかしながら、今回の不適切な株取引が発生してしまいましたことにつきましては厳粛に受け止めております。必要な再発防止策を講じ、役職員一丸となって信頼回復に努めてまいります。

改めて多くの皆様にご迷惑をおかけしましたことを重ねてお詫び申し上げます。

今後の市場区分の変更手続きの再開については、関係各位とも協議の上、状況を見極めた上で総合的に判断する予定であり、開示すべき事項が発生した場合には速やかに公表いたします。

引き続きのご支援、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本件による当社の業績への影響はございません。

以上